

◇冬休みの学習について

学年集会の中で話した内容を進路だよりにも掲載します。冬休みの学習の参考にしてください。

(取り組む内容)私立、公立ともに過去問を解いて実際の試験問題に慣れる。

- ・私立学校は、学校独自の問題となるので、学校別の過去問を準備して解くこと。
- ・公立高校は、直近3年分の過去問題を解くこと。(公立高校の問題はインターネットなどにもアップされています)

◆過去問を解く際のポイント3点

1. タイマーを使って設定されている試験時間内に問題を解く。早く解き終わっても、最後まで見直しをする。

※公立高校ならば、英語60分、その他50分 私立高校は過去問記載の時間に合わせる

2. 実際の受験日程に合わせて過去問を解く

(公立高校)であれば2日間に分けて取り組む

1日目(国語、数学、英語) 2日目(理科、社会)

(私立高校) 3教科、5教科が分かれるが基本は1日で受験となるので1日で解く

3. 試験問題を解き終わったら丸付けをして、間違えた問題は解説を確認して直しをする。可能であれば、自分が持っている問題集などで類似問題を解くと更に理解が深まる。

◇出願書類の確認と提出について

・WEB 出願(入金)をして受験票や写真票などが印刷できる状態になっている人もいますが、調査書(や推薦書)を担任の先生から受け取って、それを高校に提出(郵送を含む)しない限り、出願はできていません。

・調査書(や推薦書)は、12月から出願が始まる学校は12月22日、1月から出願が始まる学校は始業式以降に渡されます。そのため、募集要項等で自分がいつ調査書を受け取るのかを確認しておいてください。調査書は開封したら無効となり、出願・受験もできません。

・自分は調査書をもらえばよいのか、それとも調査書と推薦書をもらえばよいのか、きちんと把握した状態で受け取ってください。(募集要項を必ず確認しておくこと!! 保護者任せにしない!!)

・書類は出願するまで大切に保管する。(汚したり、折ったりしない) なくしても再発行しません。

郵送出願の確認事項

①**募集要項を確認し、封筒を準備**する。多くの学校は市販の角2サイズの封筒だが、学校によっては、封筒が配られていたり、角3封筒を用意する必要がある。特に指定がない場合は宛名票を見てもいい。

- ・宛名票にチェック欄がついている学校もあるので必ずチェックを書き入れながら準備する。
- ・調査書を入れた封筒に直接宛名票を貼り付けて郵送する学校もある。
- ・検定のコピー等の提出が必要な場合は忘れず同封する。
- ・インターネット出願の学校は、宛名票(高校名)を貼り忘れない。宛名(高校名)の「行」を「^{おんちゆう}御中」に書き直すこと。

※「行」を消す際、縦書きの場合は縦の二重線、横書きの場合は横の二重線で消します。二重線で「行」を消したら、縦書きの場合は下か左側に、横書きの場合は右側に、「御中」と記入します。

②受付期間がまだあるからといって安心せずに早めに郵便局に行く(重要)

③必要な金額の切手を貼ってポストに入れるのではなく、郵便局に行って、窓口で提出する。

書留郵便の手続きをする場合が多い。→「**受け取り**」を保管する。

・「消印有効」と「必着」の違い

1/10 消印有効 → 1/10までに郵便局に出せば OK ということ。

1/10 必着 → 1/10までに高校に届いてなければならない。したがって、1/10に郵便局に出したら間に合わない。

④出願の期間を守ること。出願期間がまだ始まっていない高校もある。募集要項を必ず確認すること。東京私立高校の大半は、冬休みが明けてからの出願となります。

事後(共通)

- ・何か書類不備があったら、必ず担任や学校(3年の先生)に連絡する。
- ・調査書受理証があれば担任に提出する。
- ・**受験票は大切に保管**する。(入試当日、発表日に持っていく。入学するまでは保管する。)

最後に、受験生にとって最大の敵は風邪や感染症などによる体調不良です。体調を崩すことで、1週間近く時間を無駄にしてしまうことがあります。年末年始はイベントも多くありますが、予防策をしっかりとって体調管理に気を付けて過ごしてください。冬休み中のみなさんの頑張りを、3学年職員一同応援しています。

